

科目名		基礎運動学	教員名	鈴木康文	学科等	理学療法	選択	履修年次	1
(科目番号)		(時間割参照)		曜日・時限等	時間割表参照	単位数		1	
				授業形態	実験・実習	オフィスアワー	木2 A305研究室		
授業概要		理学療法学を学ぶ上で基礎となる運動学の基本的な知識（運動器の機能解剖、身体運動の力学）について学ぶ。							
目的・目標		目的:運動学の基本となる知識(運動器の機能解剖、身体運動の力学)の習得を図る。 目標:1.身体力学の基礎知識を理解する。2.体の各部位の骨、骨指標、関節の名称と位置する場所が分かる。体の各部位の筋肉の名称と場所について、起始部、付着部なども含めて説明することができる。各筋肉の作用をあげることができる。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授 業 計 画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	身体運動の基礎		到達目標：身体構造の位置と方向、運動の面と軸について理解する。 学習内容：身体的位置変化の特徴について学ぶ。					
	2	身体運動の力学		到達目標：物体にはたらく力、重力のはたらきについて理解する。 学習内容：身体運動の解釈に必要な力学の基礎知識を学ぶ。					
	3	身体運動の力学		到達目標：力の合成と分解、テコ、重心についての考え方を理解する。 学習内容：身体運動の解釈に必要な力学の基礎知識を学ぶ。					
	4	身体運動の力学		到達目標：床反力、関節モーメント、パワーについての考え方を理解する。 学習内容：身体運動の解釈に必要な力学の基礎知識を学ぶ。。					
	5	身体運動の力学		到達目標：床反力、関節モーメント、パワーについての考え方を理解する。 学習内容：身体運動の解釈に必要な力学の基礎知識を学ぶ。。					
	6	運動器の機能解剖 (肩部と上腕部)		到達目標：肩部と上腕部の構造と運動を理解する。 学習内容：上肢帯と上肢の運動について学ぶ。					
	7	運動器の機能解剖 (肩部と上腕部)		到達目標：肩部と上腕部の構造と運動を理解する。 学習内容：上肢帯と上肢の運動について学ぶ。					
	8	運動器の機能解剖 (前腕部と手部)		到達目標：前腕部と手部の構造と運動を理解する。 学習内容：上肢帯と上肢の運動について学ぶ。					
	9	運動器の機能解剖 (前腕部と手部)		到達目標：前腕部と手部の構造と運動を理解する。 学習内容：上肢帯と上肢の運動について学ぶ。					
	10	運動器の機能解剖 (脊柱と胸部)		到達目標：脊柱と胸部の構造と運動を理解する。 学習内容：体幹の運動について学ぶ。					
	11	運動器の機能解剖 (頭部と頸部)		到達目標：頭部と頸部の構造と運動を理解する。 学習内容：頭頸部の運動について学ぶ。					
	12	運動器の機能解剖 (骨盤部と大腿部)		到達目標：骨盤部と大腿部の構造と運動を理解する。 学習内容：下肢帯と下肢の運動について学ぶ。					
	13	運動器の機能解剖 (骨盤部と大腿部)		到達目標：骨盤部と大腿部の構造と運動を理解する。 学習内容：下肢帯と下肢の運動について学ぶ。					
	14	運動器の機能解剖 (下腿部と足部)		到達目標：下腿部と足部の構造と運動を理解する。 学習内容：下肢帯と下肢の運動について学ぶ。					
	15	運動器の機能解剖 (下腿部と足部)		到達目標：下腿部と足部の構造と運動を理解する。 学習内容：下肢帯と下肢の運動について学ぶ。					
成績評価の方法・基準		期末試験（映像問題＋選択式問題）（100%）※対面・オンライン共通							
教科書		ボディ・ナビゲーション触ってわかる身体解剖 PT・OTゼロからの物理学 リファレンスブック			Andrew Biel 望月久 棚橋信雄		医道の日本社 羊土社 公益財団法人 日本スポーツ協会		
参考図書		アスレティックトレーナー専門基礎科目テキスト1 運動器の機能と構造 アスレティックトレーナー専門基礎科目テキスト2 スポーツ科学概論			監修:河野一郎、片寄正樹		文光堂		
教員からのメッセージ		「運動学」は人の身体運動の仕組みに関する学問です。理学療法の学ぶ上で必要不可欠な専門基礎科目になります。診療所・介護老人保健施設での臨床経験のある理学療法士がこの授業を担当します。 JSPO-ATとして登録・認定後5年を経過しており、科目内容について教育実績を有する教員がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。							